

# 標茶町議会第1回定例会

一般質問通告一覧

平成29年2月24日

No. 1

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
6番	松下哲也	担い手確保に向けての取り組みについて	<p>平成27年4月に新規就農者宿泊研修施設「しべちゃ農楽校」が開設され2年が経過した。同年5月に「標茶町担い手育成協議会」が設立され、新規就農者の育成に力を入れて取り組んでこられた。今年4月には担い手育成協議会が設立後、第1号の新規就農者が誕生する予定である。関係機関のご努力と標茶の父親的立場で研修に接してくれた就農コーディネーター、譲渡を快諾頂いた牧場主に対し心より敬意を表する。</p> <p>担い手確保に向けての取り組みに対しては昨年3月定例会において質問をさせて頂いたが、更なる充実を図るためにも再度、質問をさせて頂く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修生募集に関しては、年数回「新農業人フェア」に出展して確保しているが、それ以外に農業大学校、大学等への呼びかけを行ってはどうか。</li> <li>2. 研修生の手当について、各町村間に差は出てきているか。もし、出てきているのであれば引き上げる考えはないか。</li> <li>3. 最近では单身男性の研修希望者が増えていると聞いているが、女性宿泊施設は整備されているが、男性用が無いのが現状である。昨年、対応について検討していると答弁されているが、どのような結果になったのか。</li> <li>4. 将来的には近隣町村との広域的な運営も可能かなと考えるがどうか。</li> </ol>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
5番	黒沼俊幸	沼幌川沿線町道付近の災害復旧について	<p>平成28年8月19日から1週間に台風が4回も大雨をもたらし、一昨年8月にも被害のあった沼幌地区川沿線の道路は土砂流で2日間も交通麻痺を起したのです。</p> <p>そこで3点の質問を行います。</p> <p>1点目、十勝地方で河川の氾濫や橋の破壊、堤防の決壊で農地の泥水の流入などと同じく、本町もこの地域への災害の報告を北海道と国へ行ったと思うが、経過と内容を聞きたい。</p> <p>2点目、町道の左側は補修がなされたが、右側は土のうが3段位に積み重なったもので応急処置の状態にある。新年度で復旧工事をする予定はあるか。</p> <p>3点目、現在は冬期間で土砂流出はないが今年の夏には、また、災害の発生が予想される。災害防止の対策は考えているか。</p>	町長	
4番	深見迪	1. 役場庁舎建替え計画の時期、規模、予算について聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時に災害対策本部が設置される庁舎の耐震化状況調査では、釧根11町村で耐震化していない町村は、3町のみでありその一つに標茶町が入っているが、この現状をどう見ているか。また、代替庁舎指定の耐震化状況についても伺いたい。</li> <li>・ 本年1月25日付で、「市町村役場機能緊急保全事業について」とする都道府県・市町村課長会議配布資料が提示されたが、これによると、発災時に業務継続に支障が生じるおそれがある所については、庁舎の建替えを緊急に実施するため、「市町村役場機能緊急保善事業」を創設するとなっている。この事業は、平成29年度地方財政対策の中で総務省の目玉とも聞いているが、本町の場合この事業の対象となると考えるがどうか。</li> <li>・ 本事業の財政措置は、地方債の充当率が起債対象経費の90%以内とされており、交付税措置対象分も75%で、さらにその30%を基準財政需要額に算入するという、非常に有利な財政措置となっている。事業年度は平成32年度までとなっているが、これに合わせて庁舎建替えの計画を持つ予定はあるか。あるとすれば、その計画の時期、規模、予算について伺う。</li> <li>・ また、「釧路管内8市町村防災基本協定」との係りの中で、他町村に津波等の災害が発生した場合に本町が後方支援活動の拠点となる大きな役割があると町長が答弁したこと</li> </ul>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
		2. 入学準備金単価の引き上げ、前倒し支給など就学援助の改善を	<p>があるが、そのことも見通した庁舎建替えの構想はあるかご所見を伺いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>17年度予算案で「要保護世帯」の就学援助費のうち、新入学児童生徒入学準備費用について国の補助単価が2倍に引き上げられた。これは、参議院文教科学委員会で田村智子参議院議員が「ランドセルや制服などの費用と就学援助が大きくかい離している」と、就学援助費の抜本的引き上げを要求し実現したもののだが、これはこのとおり実施されるか</li> <li>準要保護世帯の認定基準は、市町村によって異なるが、文科省の調査では、「生活保護の基準額に一定の計数を掛けたもの」が一般的だとしている。これまで多くの自治体では、国の補助単価に合わせて就学援助費を支給しており、今回の単価改定を準要保護世帯にも適用すべきと考えるがどうか。</li> <li>以前も質問し改善を要求したが、就学援助の入学準備金の支給時期について、前倒し支給を実施・約束・検討した道内の市町村は、2月初め現在で8市15町と広がっている。 道教育委員会がこの点について通知文書を改訂したと聞いているがどのような内容か。</li> <li>前回の質問では、「所得証明の発行が5月以降」なので困難であり実施できないとの答弁であったが、入学準備金の返還が必要となるケースは少ないとの実態も出てきていて、実施に踏み切っている市町村も出てきている。前倒しで入学準備金を支給すべきではないか。</li> </ul>	教育長 町長	
11番	本多耕平	1. 酪農施策を具体化した計画を望む	<p>釧根酪農ビジョン会議は、釧路、根室の関係が一堂に会し、酪農の安定、発展を目指し平成26年に発足し、同29年2月に10年後を目標とした釧根酪農ビジョンが示された。</p> <p>私は27年6月定例会で本会議についての意義・具体的な対策を伺いました。一次産業は本町の基幹産業であり産業の衰退は町の衰退であります。標茶町の休農、離農の実態をみる時、地域そして基幹産業をとりまく情勢は一段と厳しくなっており、更なる農業支援、農業施策の充実喫緊の課題であります。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			<p>平成28年5月に標茶町酪肉近代化計画が策定されています。釧根酪農ビジョンそして酪肉近代化計画をどの様に年次ごとに具体化、計画されているのか次の点について伺う。</p> <p>本町の現状と比較し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 草地更新を4%から10%にする。</li> <li>② 担い手を50人から80人に確保する。</li> <li>③ 生乳1kg所得を20円から30円に増やす。</li> </ul>		
		<p>2. 多和育成牧場運営を再検討すべき</p>	<p>多和育成牧場の運営と今後のあり方について平成28年8月、総務経済委員会において所管事務調査を行い9月第3回定例会で報告を行いました。ここで改めて育成牧場の今後の運営のあり方を伺います。</p> <p>昭和47年より育成牧場を開設、公共牧場としての初期の目的に達しつつありますが、今日、酪農情勢は日々変化し牧場への期待、要望も又、変化しているものと思います。近年、大型化経営による哺育事業は経営者の大きな負担である事からサポート事業として又、当牧場の事業としても重要な位置付けがされています。27年度の全体預託頭数は100万頭であります。したがって現況の施設、草地面積ではマックスと考えられます。</p> <p>先に申した様に47年開設当初の目的は達成されていますが時代の変化、特に個々の酪農の経営スタイルが大きく変化して来ています。基本的な牧場運営方針を理解し、更なる時代変化に対応できる牧場運営となる為、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用戸数、町外利用が多いが町内利用を優先すべき</li> <li>② 施設の新、改築の計画はあるか。（上オソツベツの施設の高率的な利用）</li> <li>③ 職員の増員を図るべき。</li> <li>④ 衛生管理をどの様にしているか。（28年秋からの死亡増も踏まえ）</li> <li>⑤ 運営審議員構成メンバーを全町地域より選出すべき。</li> </ul>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
9番	鈴木裕美	1. 子どもの居場所づくり推進事業について	<p>子ども食堂に取り組む活動が全国に広がっており、道内でもすでに15ヶ所くらいがあるとされている。（北海道の調査による。）</p> <p>北海道は、平成28年度から子どもの居場所づくり推進事業に取り組んでいるが、この事業の対象範囲、並びに支援の内容について何う。</p> <p>この事業は平成29年度までの補助金事業と聞いており、本町においても、子どもの居場所づくり事業を取組み、実施すべきと考えるが、いかがか。</p>	町長	
		2. 本町のゆるキャラミルクックさん、ハッピーくろべえのグッズ製作を	<p>本町のイメージキャラクターミルクックさん、ハッピーくろべえは基幹産業の酪農業を表し、今では町内はもとより首都圏、道央圏等において、子どもから大人まで人気が高く、本町のPR役として大きな役割を果たしております。</p> <p>町民の中には、この着ぐるみの小さなグッズがあればとの声が寄せられておりますし、本町を訪れた観光客や町民のお土産としてグッズをとの声もあり、ぜひ、製作販売をしてはと考えるが、いかがか。</p>	町長	
8番	渡邊定之	1. 標茶町酪農・肉用牛生産近代化計画書の重点政策は何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年5月に作成された「標茶町酪農・肉用牛生産近代化計画書」では、「標茶町農業研修センター『しべちゃ農楽校』を中心に新規就農者を育成、確保する」とある。この施策は、本町の酪農の発展にとって重要な役割を果たすと考えるが、今日までの経過と今後の動向について聞く。また、研修の場がTACSだけではなく、研修生の希望も聞きながら多様な研修のあり方を考えてはどうか。</li> <li>・本町の酪農において、放牧酪農の位置づけとして「放牧認証を取得した経営体を推奨していきます」とある。これは、食の安全、安心の面から消費者からは注目を集めるものだと考えるが、具体的にどう展開し生かしていくのか。また、このことと関連して酪農業の6次産業化についての所見を伺いたい。</li> <li>・畜産クラスター事業により規模拡大が進んでいる。その中で、クラスター事業に採択されたのが全道5,750戸中76戸に見られるように一部の農家しか事</li> </ul>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			<p>業対象になっていないことや、乳牛短命化による乳牛の不足、あるいは糞尿の問題などという新たな課題も生まれてきていると思うが対策等を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ また、第二、第三のTACSのような構想もあるのか伺う。</li> <li>・ 農民の高齢化や農家の継承の課題については、「しべちや農楽校」やTACSが一定の役割を果たしていると思うが、農家に直接研修に入り、そのまま農家を継承していくというような事業の展開も方策の一つと考えるが所見を伺いたい。</li> </ul>		
		<p>2. 指定就労継続支援B型事業「しべちやコスモス」で働く人たちの一層の自立支援を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標茶町社会福祉協議会のホームページには、「しべちやコスモスは、就労経験のある障がい者などに対し、就労の機会を提供すると共に、生産活動などの機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練などを行うサービス」と書かれてある。また、「設立までの経緯」には「在宅で生活する障がいを持った方が自立した生活又は社会生活を営むことができるように・・・」と書かれてある。自立した生活、社会生活を営むことができるためには、親の援助から離れ、働くことができること、自立が可能になる収入を得られることが重要であると考え。そこで、次の点について、ご所見を伺いたい。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町からの受託事業があるが、この事業拡大と合わせて予算の増額が必要と思うがどうか。</li> <li>2. 障がいを持つ人たちが就労し、自立できるよう支援の具体的な考え方、方向性を伺う。また、B型であっても一般就労への移行に向けた必要な支援指導について取り組むべきと考えるがご所見を伺う。</li> <li>3. 町と事業を展開している社会福祉協議会との連携は当然行っていると考えるが、日常的な連携のあり方について伺う。</li> </ol>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
1 番	櫻井一隆	憩の家かや沼に於ける運営について伺いたい	<p>釧路湿原国立公園の中にあり町民の憩いの場である「憩の家かや沼」には今、多くの町民も存続を願い心配しています。標茶町も出資しておりますので質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 標茶町観光開発公社は営業していますが、経営責任者と会計責任者は誰なのか伺いたい。</li> <li>2. 今年度の取締役会は何回開かれたのか又、その内容について説明して下さい。中でも不祥事等の内容については、どのような協議をされ、その顛末はどのような結論に達したのか。更に不祥事に対する経営改善計画と再発防止対策は出来たのでしょうか伺いたい。</li> <li>3. 12月末の経営状況はどの様になっていますか又、今後の見通しについて説明して下さい。</li> <li>4. 今後も経営を継続して行くにあたり、今の役員体制のまま運営して行くのか、役員を含めどのような運営方針なのか伺いたい。</li> <li>5. 一般町民の株主からは、配当に当たる食事券や入浴券が貰えなかったとガッカリしています。今後、株主配当はどうなるのか考えを伺いたい。</li> </ol>	町長	
3 番	熊谷善行	1. ふるさと納税の取り組みと現況について	<p>平成28年の第1回定例会でふるさと納税への取り組みについての質問に対し、「町づくりに必要な事業を提示し、賛同してくれる方に対し返礼品を検討する。」と答弁をいただきました。また、町長の答弁の中に過剰な返礼品競争を危惧することも述べられました。</p> <p>最近の報道等によると、その地域の特産品とは関係のないブランド品や金券となりうる返礼品等などにより、返礼品競争が過熱しており、総務大臣も「返礼品によっては制度の趣旨にそぐわない。」と見直しを示唆される報道がされました。</p> <p>一方、標茶町出身の多くの方から、故郷に対する思いも込めて「標茶町はふるさと納税の返礼品等は設けていないのか」との質問も受けており、答弁にあった</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			<p>ように「必要な事業を提示し、賛同してくれる方に対しては返礼品を現在検討している。」と答えています。</p> <p>また、標茶町民でも出身地によっては故郷に対する思いを込めて、ふるさと納税をされている方もおられるのではないかと考えます。</p> <p>私は、ふるさと納税に対する返礼品は、本町の特産品をより多くの方に知っていただくとともに、地域の観光のPRにもつながると考えています。</p> <p>上記のことを踏まえて、3点について質問いたします。</p> <p>① 平成27年度において、標茶町民で他の市町村へふるさと納税された実績があるか、あれば件数と金額について。平成28年度については今後集計されると思うが、現時点で解かる範囲の状況について。</p> <p>② 平成28年度において、標茶町へのふるさと納税の件数と金額について。</p> <p>③ 「町づくりに必要な事業を提示し、賛同してくれる方に対する返礼品」について、どのように選定し、いつ頃を目途にWEBサイト等に公開する予定なのか。</p>		
		2. バイオマス資源の利用について	<p>平成26年度において、「標茶町バイオマス資源の効果的な利用に向けた調査」を実施し、調査報告がされたが、林業における森林間伐材等の木質バイオマスエネルギーの利用や、酪農畜産業における家畜排せつ物（家畜ふん尿）の処理にかかるバイオガスプラントなどが考えられる、ともに多くの課題があると考えるが、これからのバイオマス資源の利用及び産業化への取り組みについて伺う。</p>	町長	

